

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2019年 2月28日
研究期間	2029年12月31日 まで
研究の名称	切除不能進行胃癌患者における診断時サルコペニアが治療合併症および予後へ及ぼす影響
研究対象	当院において、2012年4月より2018年3月の期間に切除不能進行再発胃癌と診断された患者さんを対象に、診療録よりその治療詳細および経過がおえる患者さんを対象とした。
対象材料	診療記録
対象期間	2012年4月～ 2018年3月
研究の目的意義	サルコペニアは、高齢化を原因とする一次性と基礎疾患を原因とする二次性に分類され、栄養病態の悪化を反映し、身体活動能を低下させ、生命予後の悪化の要因となるが、高齢化が進むわが国では、サルコペニアを合併した消化器疾患患者が今後増加することが予想される。切除不能進行・再発胃癌患者では、診断時にサルコペニアを合併している頻度が高いことが予測されるが、臨床的意義や予後に及ぼす影響は明らかでなく、その関係性を検証していくことは有意義な研究となると考える。
方法	試験デザインは後ろ向き観察研究。割り付けはなし。ID、患者名など個人を特定できる項目を除いた連結可能匿名化データを診療録より記載し、当院にて解析を行う。また、腹部CTより腸腰筋面積を測定し、数値を収集する。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 杉本 彩 TEL 06-6843-0101